

「関節可動域制限」 ～病態の理解と治療の考え方～


講師

沖田 実 先生(長崎大学大学院医歯薬総合研究科
理学・作業療法学講座 基礎理学療法学研究室 教授)

司会

権藤 要 先生(星ヶ丘厚生年金病院)

日時: 2009年6月27日(土)

会場:  大阪回生病院リハビリテーションセンター

大阪回生リハビリテーション研究会 *Osaka kaisei Rehabilitation Society*

今回はお忙しい中、沖田 実先生を講師にお迎えし、ご講義いただきました。

様々な関節可動域制限の中でも、理学・作業療法の対象となる「拘縮」に着目し、その主要因子となる骨格筋の変化についてお話していただきました。

不動による骨格筋の変化を、微細構造から考えて病態を捉えることが、改善への糸口となり、適切な治療方法の選択ができると学びました。

研究結果と臨床における病態を結びつけた沖田先生ならではのご講義から、日々の臨床の大きなヒントをいただきました。

講師の沖田 実先生、司会の権藤 要先生ならびに受講生の皆様、本当にありがとうございました。

< 講義風景 >

